

保育子ども学科 総合型選抜 専願型(前期) Q&A

Q1 オープンキャンパスには、必ず参加しないといけませんか。

A1 オープンキャンパスへの参加は出願要件としていませんが、入試制度や専願型の各審査について説明を行う予定ですので、出願を希望している場合はぜひご参加ください。

Q2 エントリーシートは、手書き、PCどちらで作成した方がよいですか？

A2 保育子ども学科では、実習でも手書きで日誌を記述しますので、手書きで丁寧に記述されることを推奨します。

Q3 専願型前期の最終審査「保育に関わる表現・特技、プレゼンテーション」内容について、具体的に教えて下さい。

A3 「保育に関わる表現・特技、プレゼンテーション」では、自分の強みを表現できるものを一つ準備してください。例えば、ピアノやダンス、造形など、ご自分の得意な分野から選んでもよいですし、そうした分野が思い当たらない場合でも、「絵本の読み聞かせ」などを選択することもできます。また、パワーポイント等を用いて、保育や子どもについて、自分が興味・関心のあるテーマを調べて発表することも選択肢の一つです。高校の先生とも相談しながら準備したものを、その場でお見せください。

Q4 幼少期からピアノ(ヴァイオリンやダンスなどの習い事を含む)を習ってきましたが、そうした特技を披露する形で良いのでしょうか？

A4 ご自身が続けてきたことを表現・特技として取り上げることはとても良いと思います。保育子ども学科の入試で注目する点は、「子どもと」「子どもに」「子どもが」など子どもたちとの表現活動が意識されたパフォーマンスとなっているかどうかです。特技を十分に生かしながら、子どもという存在を意識した内容になるよう工夫してみてください。

Q5 造形の場合は、自宅で作ったものを持ち込んで使用してもよいのでしょうか？

A5 ご自身で手作りされたものであれば、持ち込み可能です。ただし、完成品を披露するのが目的ではなく、Q4と同様に子どもという存在を意識しているかが問われます。身の回りの素材で手作りおもちゃをつくることや、人形をつくりお話をすること、素材を楽しむ造形あそびなどもよいでしょう。

Q6 「絵本の読み聞かせ」を選択する場合は、どのような準備が必要でしょうか？

A6 絵本を一冊選び、読み聞かせをする相手を想定して、絵本のストーリーに沿って、声の大きさ、ページのめくり方、読み聞かせのペースなど、本番に備えて練習しましょう。いずれの場合も、子どもを想定した表現であることです。そして、その表現を選択した理由、想定した子どもの年齢などについて、質問に答えられるように準備してください。

Q7 プレゼンテーションを選択する場合は、どのような準備が必要でしょうか？

また、内容は保育に関わるものであれば、何でもよいのでしょうか？

A7 保育や子どもについてご自分が興味・関心のあるテーマを調べて発表します。プレゼンテーションの形式は自由です。プレゼンテーションの方法、パソコンの使用環境などについて不明な点がある場合は入試広報課に確認してください。

- ・本学設置のパソコン（Windows）、プロジェクターの使用が可能です。
- ・プレゼンテーションソフトはパワーポイントに限定します。使用する方は USB メモリにてデータをお持ちください。また、A4 用紙に3部印刷して当日持参してください。
- ・黒板の使用や自作のポスター、説明資料や指し棒、レーザーポインター等、小道具の持ち込みを認めます。

Q8 専願型前期の最終審査の「自己アピール後の面接」では、どのようなことを質問されるのでしょうか？

A8 例えば、言語表現や音楽表現などでご自身を取り上げた作品（曲や絵本）について、選んだ理由や作者などの基本的な情報について問うこともあるでしょう。また、何を表現しようとしたのか等、プロセスや意図を言葉で説明することを求める場合も想定されます。

Q9 エントリーシート項目4「詳細」には、どのくらい詳しく書いたらよいのでしょうか？

A9 ご自身が最終審査に進んだ場合に自己アピールをしたい内容について、具体的に書いてください。子どもの年齢の想定や重視したいポイントなど、ご自身の場面設定を自由に考えてください。なお、持ち込むものは全て記載してください。例えば、絵本の読み聞かせであれば、予定しているお話のタイトルと作者名を書いてください。

また、手作りした紙芝居を活用して子どもに向けたお話をする、手作り楽器で演奏して踊るなど、様々な表現を組み合わせることも可能です。もし、どの表現に特に力を入れたいという思いがある場合は、「詳細」に書いてください。